

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ポラリスひろば福岡教室		
○保護者評価実施期間	2024年 11月 11日		～ 2024年 12月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32	(回答者数) 32
○従業者評価実施期間	2024年 11月 11日		～ 2024年 12月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 24日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個々のレベルに合わせた学習や課題設定を行っている。	送迎時や保護者面談の際に学校の先生や保護者様より伸ばしてほしい所、改善出来たらよい所を聞き、反映できるようにしている。	送迎時のみではなく、さらにこまめな連絡を取り合い共有を深めていく。
2	見通しを持つことができるカリキュラムが設定されている。	5分前の声掛けや変更がある場合には不安にならないよう事前の声掛けを行っている。	視覚支援でのインプットのみではなく、聴覚からの口頭指示が入るような伝え方や手順を行っている。
3	リフレッシュできるような行事設定。	普段の活動への意欲を持てるよう、月に数回外出や室内での楽しめる行事を計画している。	児童のみではなく保護者参加型や地域との交流を検討していきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	1日の流れが学校と似ている。	学校へ登校できている児童や流れが決まっているほうが安心してできる児童へはスムーズに対応しやすいが、学校への苦手さを感じている児童へは受け入れが難しい。	個別で対応できるスペースの確保や対応できる職員の確保。職員のスキルアップ。
2	自由に走り回るための広さがない。	児童数に対して教室の広さが合わず、活動内容や遊びによっては危険な場合がある。	児童がケガをしないよう危ない場所へはマットを立てかけたり、クッションを貼り付けている。危険物を収納できるスペースがあると良い。
3	道路に面している建物。	気温や換気の為、窓を開ける際道路に面しているため児童の声が外に聞こえてしまう。そのため、犯罪への危険性がある。	内カギをかける。インターフォンにて来訪者の場合は確認してから戸を開けるようにしている。